



協 造 日 報 廣 報

www.jalc.or.jp

第466号

2013年1月10日

本号の主な内容

新春特別号

新春座談会

「造園界に託す夢」

造園に携わる女性の将来展望

発行／一般社団法人日本造園建設業協会（Japan Landscape Contractors Association） 創刊／昭和49年6月1日 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-17 井門本郷ビル2階 TEL03 (5684) 0011 FAX03 (5684) 0012



国指定特別天然記念物「石徹白の杉」（岐阜県郡上市白鳥町石徹白）

この杉は岐阜県郡上市白鳥町石徹白の白山登山道の登り口、標高1,000mの地点に位置し、樹高25m、目通り14.5m、推定樹齢1800年の杉の巨木である。幹上部からは太い枝が何本も真っ直ぐに上に向かい、大半の枝が伸びたところで枯れている。枯れた箇所や腐朽箇所からは、ヤマウルシやコシアブラなど色々な草木が着生しており、あるいは昆虫や鳥類の営巣場所にもなっていて、様相は一つの森のようである。（岐阜県支部）

謹賀新年

一般社団法人日本造園建設業協会

会長 藤巻 司郎

年頭に当たって

2013

造園建設業の明るい未来のために



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新たな希望を胸に輝かしい新春をお迎えになられたことと思います。

環境の世紀に入ってから10余年が経ち、社会全体の環境保全意識が急速に高まってきました。身近な環境から生物多様性対策、地球温暖化対策など地球規模の環境問題への関心に加えて、東日本大震災を契機にエネルギー問題が顕在化、大きな関心事となっています。また本格的な少子・高齢化社会を迎え、この日本の将来のあり方をめぐる議論が、各方面で交わされるようになりました。これまで築き上げてきた豊かな日本を如何に持続化し、国際社会の発展に寄与していくか、が大きな課題となっているように思います。

日本の将来像を描き出す様々な議論の過程で、自然と共生し、美しい景観の日本を将来の子供達に引継いでいくために、如何に失われた緑を再生し、新たな緑を創出していくのか、についても十分な議論がなされることを期待しております。

私たち造園建設業界は、低迷が続く経済状況や公共投資の著しい減少に伴い、非常に厳しい経営環境下におかれています。国政においては新たな政治体制がスタートしました。早急に緊急経済対策が実施され、一日も早い景気回復を願って止みません。

が、このような時こそ造園建設業の明るい未来を目指して日々活動を行っていくことが重要です。常に時代のニーズを的確に捉え、社会の変化に即応できる態勢を整え、我々は様々な機会を捉え、植物をはじめ多くの自然素材を巧みに組み合わせた景観を創造することこそが、身近な環境はもとより生物多様性対策や地球温暖化対策など地球環境にまで関わる活動領域と規模を造園建設業が大きく広げていくと信じています。

このような中、当協会は昨年4月1日に一般社団法人へ移行し、新たな一歩を踏み出しました。重要課題である社会保険未加入対策をはじめ造園建設業を取りまく諸課題に対応するための体制を整え、造園建設業の発展と会員企業への支援を重視した日造協活動への取り組みを本格化させてきました。

環境保全意識が社会全体に広がるこの時代において、生き物を扱う唯一の建設業である造園建設業として、「造園力」を発揮できる活動領域を拡げるとともに造園業界で働く人がやりがいを感じ、誇りを持って明るい未来の魅力ある環境づくりのために、この一年、皆様とともに日造協活動に取り組んでいきたいと考えています。本年も皆様のご指導、ご協力、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

「造園界に託す夢」

新春座談会

座談会開催に当たって

広報日造協の新年号は、昨年日造協40周年に当たり関係団体から寄稿をいただくなど、これまでさまざまな特集を行ってきました。こうした中、新たな年に向けた座談会も数多く開催し、近年は2009年に「造園建設業の活性化

2011年に「次代の造園の夢を語る」と題して、若手経営者の取り組みと日村岡 今日は大役を仰せつ

「ご活躍され、日造協の全国造園デザインコンクールに想いを語っていただき、審査委員も務める村岡政子(二社)ランドスケープ

社だったものですから、周りの方々に助けをいただき、家族の協力もあって、今まで仕事を続けることができました。

自己紹介を兼ねて原田さんから、現在どんなお仕事をされているか、業界に入っただけならばと思います。

が、こちらでも同様に緑地管理業務に携わっています。井上 山梅造園土木で営業をさせていただいている井上と申します。今日は、北は秋田、南は福岡から来られています。群馬はその真ん中。会社のある太田市は鶴の形をしたくちばしの部分に当たる交通の便の良い所で、栃木、茨城、埼玉へは車でちよつと、東京へは80km、車で2時間と、関東近県で仕事をさせていただいています。

村岡 今日は大役を仰せつかっておりますが、気兼ねなく、いろいろなお話を伺えればと思っています。

私は、大学を卒業してからずっと、現在の会社に勤めさせていただいています。私が入社した当時、会社に造園設計の女性技術者はいませんでした。造園施工となると、まったくとい

原田 九州の内山緑地建設から来ました原田と申します。出身は茨城ですが、弊社が管理する福岡の指定管理の現場で仕事をしたいと思いつき、一気になにに飛んでいきました。

桑園 東京の渋谷区恵比寿にある東光園緑化から参りました桑園と申します。現在、事業部管理課で、マンシオンや個人庭、公共の街路樹剪定などの現場代理人をさせていただいています。

高橋 私は桑園さんのようなドラマティックな経歴はなく平凡ですが、青森で生まれ育ち、大学で秋田に在勤務しています。

造園を選んだ理由

村岡 今日は大役を仰せつかっておりますが、気兼ねなく、いろいろなお話を伺えればと思っています。

原田 九州の内山緑地建設から来ました原田と申します。出身は茨城ですが、弊社が管理する福岡の指定管理の現場で仕事をしたいと思いつき、一気になにに飛んでいきました。

桑園 東京の渋谷区恵比寿にある東光園緑化から参りました桑園と申します。現在、事業部管理課で、マンシオンや個人庭、公共の街路樹剪定などの現場代理人をさせていただいています。

高橋 私は桑園さんのようなドラマティックな経歴はなく平凡ですが、青森で生まれ育ち、大学で秋田に在勤務しています。

以前は、天王事業所で、公共や民間の緑地管理を主に担当しており、出産・育児休暇を機に、北秋田市の県北営業所に移りました。



村岡 政子氏

座談会出席者

進行：村岡 政子氏

(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会 理事・関東支部長、(株)ライフ計画事務所取締役

高橋 啓子氏

むつみ造園土木(株) 緑地管理担当 (秋田)

井上 優美氏

山梅造園土木(株) 営業部課長 (群馬)

桑園亜希子氏

東光園緑化(株) 事業部管理課 (東京)

木山 沙季氏

(株)京阪神グリーン 工務部 (大阪)

原田 麻美氏

内山緑地建設(株) 設計営業部 (福岡)

オブザーバー

藤巻 司郎 (一社)日本造園建設業協会会長
高梨 雅明 (一社)日本造園建設業協会常任顧問
鈴木 誠司 (一社)日本造園建設業協会広報活動部会長

福岡に来られることがありましたが、ぜひ白野江植物公園へお越しください。

自然に囲まれて育ち植物が好きだったので、その後大学の農学部に進みまし

た。卒業後は自然保護ボランティアと海外に強い関心があったので、カナダにあるバーンズ・ボグ・コン

サクション・ソサエティ(Burns Bog Conservation Society)という湿地を管理している団体で1年半ボランティアとして活動させて貰いました。

帰国後は、自然を伝えることも面白そうだと思い教育番組などを制作する映像会社に3年間勤務しました。しかし、そこで必要なことは、いかに映像を通して分かりやすく視聴者に伝えることであり、植物の知識は基本的に必要ではありませんでした。

その中で、私は植物のプ



新春座談会のようす (日造協会議室)

造園に携わる女性の将来展望

を続けるかどうか迷いましたが、経営者と相談し、「是非続けて！」とお話をいただいたので、会社から1分のところに家を建て（近い！笑）、そこから通っています。

本山 大阪の京阪神グリーンの本山と申します。私は特にやりたいことも見つからないまま、大学卒業後、父が社長をしている会社に入れたらいいなというのを正直なところでは、仕事を始めたころは、わからないことばかりで、楽しいなとは到底思えない状況で、一杯一杯でした。

現在は事務の仕事を中心にしておりませんが、たまに公共工事の現場代理人などもさせていたいただいています。

また、資格では、今年は1級造園施工管理技士を受験し、学科試験に合格しました。12月の実地試験に向けて勉強中です。

また、チェンソーや刈払機の安全衛生教育も受講しました。最初は怖くておこなびつくりでしたが、分解・掃除・組立・操縦をひと通り習得しました。

また、弊社は高知県に農場があり、樹木販売もこなっております。私はネットショップ運営の管理をさせていただいています。

まだまだ、業界に入っただけで、こうした場にいるのも恐縮ですが、いろいろと勉強させていただきます。よろしくお祈りします。

女性を取り巻く環境

村岡 いま皆様の経歴やお仕事についてお話を伺いましたが、改めて「女性って柔軟だな」と思いました。やりたいと思ったことに向かって、自分の拠点や仕事を変えたり、1つの会社の中でも、いろいろな仕事をしたりと、柔軟性があるから、そういうことができるのでは？

造園の仕事は多種多様で、いろいろなものを受け入れ、多方面に発信していくということが大事なことで、そういうところに女性の力が発揮できる部分があるのではないかと考えています。

私、造園設計の会社に入りましたが、最初は、造園らしい仕事をまったくさせて貰えませんでした。たまたま小学生の時に取った

算盤1級が役立つ、その頃は電卓などなく、「タイガー計算機」のような大きな機械式のものしかありませんでしたから、「足し算だけなら算盤が便利」と、住都公団（現・都市再生機構）などに、算盤を持って行って、積算のお手伝いをしていました。

何で造園の学校を出ているのに、算盤ばかりなんだと思ったりもしたのですが、その後も事務の仕事しながら造園の計画・設計を学びました。今から思うと、その頃に柔軟性が培われたのではないかと考えています。

また、造園はいろいろな経験が活かせるので、他の分野、他の業界からも入ってきてやすいように思います。が、その辺は桑園さんいかがですか。

桑園 造園は身近にあるものですが、やはり専門には専門の奥深さがあり学ばなければ分からない事が多いと思います。木を切る作業一つとっても、誰にでも出来るように見えて切る枝の選別等、実際に知っているか知らないかで大きく変わってくると思います。

村岡 ボランティアや映像会社での経験を活かせる場などはありますか。

桑園 ものごとの伝え方というものは、これまでの経験が役立つと思います。現在も報告書などを通して人に物事を伝える場面が多くあり、分かりやすく伝える方法や表現方法は、映像会社勤務時代に教わったことを大切にしています。

ボランティアでは、自然保護をするには、いかに人に知って貰い、その場所が大事なものを分かっても、やらうことが一番大事だと教わりました。

その方法として、大事さを上から説明してもダメで、イベント等を通して自

また、弊社が高知県に農場があり、樹木販売もこなっております。私はネットショップ運営の管理をさせていただいています。

また、チェンソーや刈払機の安全衛生教育も受講しました。最初は怖くておこなびつくりでしたが、分解・掃除・組立・操縦をひと通り習得しました。

また、資格では、今年は1級造園施工管理技士を受験し、学科試験に合格しました。12月の実地試験に向けて勉強中です。

また、チェンソーや刈払機の安全衛生教育も受講しました。最初は怖くておこなびつくりでしたが、分解・掃除・組立・操縦をひと通り習得しました。

また、弊社は高知県に農場があり、樹木販売もこなっております。私はネットショップ運営の管理をさせていただいています。

まだまだ、業界に入っただけで、こうした場にいるのも恐縮ですが、いろいろと勉強させていただきます。よろしくお祈りします。



高橋 啓子氏



「エノキ樹勢診断研修会」樹木診断技術の向上、樹木医との交流を目的に樹木医学会秋田県支部が主催した勉強会で大崎市天然記念物のエノキを診断している様子④ SBS主催によるイベント「グリーンサムガーデン」でのひとこま⑤

村岡 指定管理者などをしていると、伝えることの難しさなどにも直面すると思えますが、いかがですか。

原田 指定管理業務の中には、いろいろな仕事がありますが、伝える手段として、人と話すことはとても大事なことだと思っています。担当していた公園は植物公

園なので、基本的には植物が好きなのが訪れますが、中にはそうでない人もいます。その時に、直接説明して、感動して貰えたり、植物をみる楽しさを分かってくれたらいいなと思います。とても嬉

しいです。伝えることの大切さを実感します。

高橋 私の携わっている仕事に関連して、会社の紹介のようになってしまいますが、企業が利益を追求し、継続していくことが重要である一方で、社会的な活動の施設を開放し、お互いの

情報交換などを行い高めあおうというものです。弊社の会長は常々「日本に眠っているのは女性の力だ。その力を引き出せば、日本はまだまだ元気になれる。いろいろな可能性も生まれるだろう」と話し、地域や産業を活性化させていきたいと力を入れています。

村岡 社内女性に対しての対応はいかがですか。

高橋 建設業の中では女性が多く活躍している会社だと思っています。それは今に始まったことではなく、すなわち会社も周囲の男性方も女性に理解があり、受け入れ態勢があるという結果ではないでしょうか。しかしながら結婚、そして出産となると壁が高く、図々しく（笑）産休、育休をとって復帰したのは私が初めてです。

村岡 女性をつないでいく、SBSの活動などで、高橋さんがネットワークの中心的な役割を果たしていることを期待していらっしゃるのはないでしょうか。

高橋 力になれればいいですが、私はまだまだ勉強させてもらっている側の立場です。

井上 弊社の経営者も「これからは女性の時代だ」と強く打ち出しています。結婚して会社に残っているのは、私も会社第一号で、子どもはまだいません。

私、今日の座談会のお話をいただいたときに、女性が働きやすい環境をつくるのは、他の誰でもない私たち女性なのかな、そういう話が多々あるな、という話がありました。ですから、自分が見本にならなくてはという思いも出てきました。

また、弊社は高知県に農場があり、樹木販売もこなっております。私はネットショップ運営の管理をさせていただいています。

また、チェンソーや刈払機の安全衛生教育も受講しました。最初は怖くておこなびつくりでしたが、分解・掃除・組立・操縦をひと通り習得しました。

また、資格では、今年は1級造園施工管理技士を受験し、学科試験に合格しました。12月の実地試験に向けて勉強中です。

また、チェンソーや刈払機の安全衛生教育も受講しました。最初は怖くておこなびつくりでしたが、分解・掃除・組立・操縦をひと通り習得しました。

また、弊社は高知県に農場があり、樹木販売もこなっております。私はネットショップ運営の管理をさせていただいています。

まだまだ、業界に入っただけで、こうした場にいるのも恐縮ですが、いろいろと勉強させていただきます。よろしくお祈りします。

造園Ⅱ憧れる職種No.1に

ことって大切だと思いま
す。毎日、忙しく過す中
で、そういうきっかけがな
いと、勉強する時間をつく
ることはなかなか思いま
せん。そういう環境に持つて
いくことも必要ですね。
また、女性にとっては、
資格というもの存在は男
性以上ではないでしよ
うか。産休や育休などで、
スキルが途絶えるのではな
く、続けていこうと思う原
動力にもなるように思いま
す。

村岡 そろそろこんなこと
をしていきたいとか、夢の
お話をしていきたいと思
いますが、木山さんいかが
ですか。
木山 やはり男性の方が多
いので、男性が取り仕切っ
ている業界という感じはし
ます。それが良くないこと
だと、まったく思いま
せん。ただ、ちよつとだけ、
女性が敬遠しがちな業種
のような気がします。この業
界で自分の周りに、同年代
の女性が少ないからかもし
れないので、もっと増えて
いってくれたらいいと思
います。

一方、この業界でない
人に造園の仕事の話をす
ると、「面白そう」と言われ
ることも多く、よくよく話
してみると、私が思う以上
に植物や庭が好きで関心
を持っている人が多いこと
も、実際に仕事をしてみて
わかりました。
ですから、造園のことを
知らない人たちに、もっと
造園のことを発信していけ
たらいいと思っています。

きつと、これまでと違つた
PRをしていったら、もっ
と若い人も関心を持つてく
れるのかなと思います。
村岡 現場の経験はいいで
すね。私は施工の現場を経
験できませんでしたが、皆
さんいろいろな現場経験を
されていて、その一つ一つ
を宝物だと思つて大切に
していただきたいと思いま
す。若い人の話も出ました
が、採用もされている井上
さん、最近の若い人はどう
ですか。
井上 面接をしていると、
正直男性より女性の方がバ
ワフルです。「こういうこ
とをやりたい」と、はつき
りした考えを持っていま
す。3年前、5人を一気に
採用した際、当初女性は1
名を考えていましたが、ど
うしても女性にガッツがあ
つたので、3名も採用して
しまいました。その3名は、
今もバリバリに活躍中で、
面接のときの勢いは全然衰
えず、「やりたかったこと
がやれて楽しいです」と言
っています。

「造園のすごさ」 広く一般の方々に発信しよう



桑園 亜希子氏

用や森林浴、自然観察会
などで、そういうものにもつ
と積極的に携われたらと思
っています。
また、資格の話にも関係
しますが、造園とは直接関
係のない資格も面白いと思
っています。私は今年、ベ
ビーマッサージの資格を取
りました。これは、グリー
ンサム倶楽部が提供してい
る建物で行う催事を企画し
ていた際に、育休中にベビ
ーマッサージをやっている
サークルに行ったら、とて
も楽しかったという話を
し、社長にその資格取得を
促されたからです。
私は催事を行う際、ベビ
ーマッサージの先生を招く
とばかり思っていたのです
が、「指定管理者の施設で
も、ベビーマッサージをし
たら、お母さん方の集客に
つながるでしょう」と言わ
れました。
本当にその通りで、男性
と競合するのではなく、む
しろ、女性だから、お母さ
んだからといった視点を活
かせたらと思っています。
特に、公園などは、お母さ
ん目線が求められると思
います。そして、同じよう
にこれからはお年寄り目線も
もっと大切になってくる
と思います。
桑園 今、家庭菜園をやり
たいのですが賃貸マンション
暮らしなので、ベランダ
でちよつとした野菜を作
って楽しんでいます。でも、
収穫時期を逃してプロッコ
リーの花を咲かせたり、レ
タスに付いたアブラムシを
見て食べる気をなくしたり
と、あまり収穫の喜びは味
わっていません。畑を借り
て野菜を作ってみたくので
すが、暫くは無理そうです。
原田 山が好きなので登山
をしたり、海も好きなので
ダイビングもします。その
ほか、鳥も好きなので、い
ろんな鳥に行ったりします。
先週は群馬県におり、突
然の代休で、友達も誘えず、
一人で尾瀬に行つてしま
した。九州に熊はいないので、
すつかりクマよけの鈴など
も忘れていて、森のくまさ
んを歌いながら手を叩いて
散策しました(笑)。とて
も良かったです。
桑園 将来のことをじつと
り考えることは、現状で精
一杯なのであまりありませ
ん。でも、もつといろいろ
なことを吸収したいと思
う気持ちはいつもあります。
私は造園については知ら
ないことだらけなので、た
だ庭を見るだけでは造園の
伝統や技術、庭づくりのノ
ウハウは自分で気が付くこ
とすらできません。教えて
貰つたり、勉強したりして
やつと気づくことばかりで
す。
一般の方も同じで、興味
のない人は身近なものであ
りながら「造園のすごさ」
は知る機会がないと思いま
す。上の人から学んだこと
を一般の方々にも知ってい
ただくような活動もできれ
ばと思っています。
また、東京は、人の周り
に緑が少ないにもかかわらず、落
ち葉が迷惑、枝が邪魔だか
ら伐つてくれという声も多
く聞かれます。最近その様
な声が増えてきていると感じ
ています。
「きれいに剪定して欲し
い」というのではなく、「こ
の高さで切つて欲しい」な



ケヤキ剪定作業のようす。シンボルツリーとして自然樹形を維持しながら、一回り小さく剪定している。

どという要望が多く、職人の技術云々の話ではありません。こういう仕事ばかりになってしまふのでは技術も活かせないですし、私達も関わる意味がないのではと思つてしまいます。

社会全体・住民の方々の考え方の問題なので、技術以前の課題として自然との関わり方について、何か発信してこのような状況を少しでも変えていかなければならないと思つています。今現状では、何も発信できていませんが、広く外へ発信をしていけたらいいなと思つています。

東京だけなのかもしれないですが、美しい樹形は問題外で、落ち葉が迷惑・虫が嫌いということのみで、樹木が樹形も樹勢も関係なく切られている現状は、深刻な問題だと思つています。

原田 平成23年に樹木医の研修で全国のいろいろな人とお話ししましたが、全国的にそういう傾向があるように、皆さん悩んでいらつしゃいました。

私自身、公園に隣接したお宅から、公園の樹木の葉が落ちてくるので切つて欲しいと、面と向かつて言われたこともあり、切なくなりました。

井上 群馬も同じです。役所の担当の方によって、随分と対応も違います。樹木



井上 優美氏

仕事は楽しくするもの

いかがですか。

原田 今日、福岡空港から来ました。空港内にバックヤ洋服のお店があったのですが、店員の方がピシッとした男性ばかりで、少しだけ入りづらさを感じました。

お店の雰囲気や取り扱うジャンルにもよると思うのですが、店員の方が男性か女性かで、入りやすさも違つてくるんだと思つました。

一般的に女性の対応の方が柔らかな印象を受けやすいので、一般の方に何か伝える時も、女性を窓口にする親しみやすいという利点があるのかなと思つます。そのような女性の印象を活かして、できるだけ多くの人に植物の素晴らしさなどを分かつて貰いたいと考えています。

先ほど、両極端になつてきているというお話がありました。日常に自然に接することなく育つた人たちに、自然のことを伝えるのはとても難しいと思つます。

私は、自然に恵まれた環境で育ちましたが、大学は神奈川県内でした。緑が少なく環境の中で毎日夜まで遊んでいるような生活をして

いると(笑)、緑が身近にあるという感覚はなく、街路樹に生息する虫、公園で咲く花や飛んでくる鳥のことを気に掛けることもありません。

そういう都市環境で育つた子どもたちは自然に対してどのような感覚を持つのか、田舎

かなと思つています。

環境教育なども盛んに行われていますが、もしも大人がお膳立てをしたカリキュラムだった場合、なかなか身に染みて実感することは難しいと思つています。

都会が悪い訳でも、田舎

都会で生きものの世界のこと、みどりのことを楽しく伝えていければ、造園業界や自然環境について、一般の方からもっと理解が得られるのではないのでしょうか。

そのためには、いろいろな実体験を積み重ねなければならぬと思つています。形だけ取り繕つてもダメで、人として自分を磨いていくことも不可欠です。そして何より、やっている本人が楽しくないと、楽しさは伝わりません。

村岡 ひと昔前までは、公園の管理事務所という堅物そうなおじさんが座つていたりしましたが、指定管理者となつた造園企業なども増え、窓口は女性の方がいらつしやるだけで、いい

公園なんだろうなと思つてしまつこともあります(笑)。

女性が活躍する場面がますます増えていきそうですが、木山さんはいかがですか。



日造協「造園フェスティバル2012」のスタッフで記念撮影(群馬県立金山総合公園)

木山 女性が活躍する場が増えるのは嬉しいことですが、同じように造園が活躍する場も増えていって欲しいと思つています。造園は、環境を扱う業種なので、環境が重視される中、そういう取り組みをもっと進めていけたらと思つています。弊社でも、ここ数年は特に壁面緑化に力を入れており、関東の方が進んでいると思つています。大阪でも徐々に増えてきており、魅力的な分野だと思つています。

環境をもっと上手にアピールすれば、興味を持ってくれる方も増えると思つます。壁面緑化についても、ただ緑の植物があるというのではなく、カラーリーフを使い、おしゃれなデザインで施工すると、やってみたいと思つ方が増えるのではないのでしょうか。

工事現場のバリケードを壁面緑化したこともあり、壁面緑化は「いいね」と言つていただ

き、評判が良かったです。下地のコケや灌水装置など、まだ試行錯誤の部分がありますが、もっと取り組みたいです。

今までと同じことをやっていたのでは、変化の激しい時代についていけません。そういう変化に対応できる組織が、これからの時代を生き残っていくの

ように、男性も女性も関係なく、人として成長できる会社であれば、どの部署で

か。

木山 女性が活躍する場が増えるのは嬉しいことですが、同じように造園が活躍する場も増えていって欲しいと思つています。造園は、環境を扱う業種なので、環境が重視される中、そういう取り組みをもっと進めていけたらと思つています。弊社でも、ここ数年は特に壁面緑化に力を入れており、関東の方が進んでいると思つています。大阪でも徐々に増えてきており、魅力的な分野だと思つています。

環境をもっと上手にアピールすれば、興味を持ってくれる方も増えると思つます。壁面緑化についても、ただ緑の植物があるというのではなく、カラーリーフを使い、おしゃれなデザインで施工すると、やってみたいと思つ方が増えるのではないのでしょうか。

工事現場のバリケードを壁面緑化したこともあり、壁面緑化は「いいね」と言つていただ

き、評判が良かったです。下地のコケや灌水装置など、まだ試行錯誤の部分がありますが、もっと取り組みたいです。

今までと同じことをやっていたのでは、変化の激しい時代についていけません。そういう変化に対応できる組織が、これからの時代を生き残っていくの

ように、男性も女性も関係なく、人として成長できる会社であれば、どの部署で

村岡 井上さんはいかがですか。

井上 話そうと思つたことを皆さんがおっしゃつてくれましたが、弊社も群馬県立金山総合公園(ぐんまこどもの国)の指定管理者として1期が3年で3期目の7年目になります。4期目を目指すにはいいものは続け、同時に新しいものをどんどん取り入れ、変わつていかなければならないと思つています。

その時に、高橋さんの子どもを産んでから母親目線になつたというお話のように、見る目線を変化させ、前向きに捉える必要があるのではないかと思つています。

先ほど、主婦になると一人前ではなくなるお話がでしたが、そうではなく、逆に今までと違う考え・立場の仕事で「主婦でも一人前の仕事に値する」やり方に変化させていく考え方が、これからは必要になつてくるのではないかと思つます。

今までと同じことをやっていたのでは、変化の激しい時代についていけません。そういう変化に対応できる組織が、これからの時代を生き残っていくの

あっても、どんな仕事をしてきつと楽しく仕事ができるはずで、そこで力を発揮できれば、当然会社も良くなつていくと思います。そういう組織づくりが今考えている「夢」ですね。その土台作りをしているところで、社内だけでなく、外部の方々へのアピールもしていかなければならないと思っております。

村岡 今までお話を聞いていて、柔軟さとか元気があ

るのほもちろんですが、皆さん仕事を楽しくしていらつしやるのが共通しているのではないかと思います。

男性もきつと仕事を楽しんでるのかもしれないですね、大変そうな顔をしている人が多いような気がします(笑)。

周囲に楽しさが伝わってくるととても大切なことだと思えます。

高橋 先ほど、男性店員さんのお話もありましたが、逆に私が今日乗った飛行機のアテンダントは、女性だけではなく男性もいらして、若くて爽やかで、こういうのもいいなと思っていました(笑)。

最近、保育士さん看護師さんも男性が増え、今まで女性が多く見られた職場に男性の姿があることは、私はよい傾向だと思います。男性・女性の枠を超えて

幅広いニーズへの対応に繋がると思っています。発想や考え方について私のイメージですと、男性は遊び心や突飛な発想に長けていて、女性は細かいところに気づき、より現実的な気がします。お互いに不足な点を補い、得意な面を活かせれば新たな可能性が生れるのではないのでしょうか。

それと夢の話の続きにもなりますが最近読んだ本

人を大切にして働ける環境を

に、みどり好きは伝染するという話がありました。公園で寄せ植えをつくったり、公園で拾ったマツぼっくりなどを使ったクラフトをお家に持ち帰って貰うと、そのご家族だけでなく、ご近所や知り合いの方に広がっていくこともありま

す。みどりに触れ合う機会が少ないというお話もありましたが、そういうことがみどりに親しみきつかけになり、みどり好きが伝染すればいいと思っております。

それとみどり好きを育てるためには、こういう風にした方がいいと押し付けるのではなく、自分がやっているガーデニングや、自分が楽しんでやっていることを、「私もやってみたい」と広げていくのが一番いいと思っております。そういう拠点づくりをしていきたいと思います。

皆さん、造園の仕事が好きなだおつしやられ、積極的に仕事や自分磨きをされておられ、夢を語る立場の皆さんの、逆に励まされました。有難うございます。私も自分にできる仕事を

もつと増やしていきたい、一杯頑張っていきたいと思っております。

村岡 最後につつかくです。今までのお話の率直な感想など、高梨さんいかがですか。

高梨 今までのつくる造園から、つくったものを活かす造園に変わってきた中で、今までは顔の見えない不特定多数を対象としてきたと言いますが、ストックの時代、指定管理者などは特に、顔の見える特定の人あるいはボランティアグループや自然保護団体の方々などと一緒に仕事をしていく状況になってきました。

村岡 今日はいよいよ進行ですが、私も励まされ、夢を

村岡 もつといろいろとお話をお聞きしたいところで、最後に後輩や造園界へのメッセージをいただけますか。

原田 現実的に難しい部分もたくさんあると思いますが、私は造園を面白い仕事だと思っております。

直接命を扱う仕事なので、そういう気持ちを大事にしていけば、考え方ひとつで何とかなると思っております。

皆さん一緒に頑張りますよ。

桑園 私もこの造園の仕事が好きです。命のある樹木を扱っているのでまったく同じことがなく、次々学ぶことが出てきます。お客さんからの質問に対する答え

が分からないこともありま

すが、そういうものを学び、積み重ねていくことで、その積み重ね・経験が大きな強みになると思っております。

また、この業界で仕事をしてみても、女性が少ないか

とは言えません。ただ、自分は何を大事にして何をやりたいのかをつきつめていけば、道は開けると思っています。目的意識を持ってこれからも頑張っていきたいと思っております。

高橋 今まで結婚して退職

井上 最近、今春に入社す

る人たちの内定式を行いました

が、「楽しむ事をやめない!」「考える事をやめない!」「感謝する事をやめない!」という決意表明がありました。

今までは、「私たちはやりま

す」だったので、とてもユニークでした。

若し人たちがスローガンを掲げ、一緒に取り組んでいくことが大切だと思

っています。自分がやってきたことは必ず自分に返ってきます。



木山 沙季氏

「造園界の将来を自分たちで切り拓いていこう」という進行役の村岡氏の一言が、今回の新春座談会の活気ある状況を表していると思えます。

実際の座談会は本紙に掲載を一部割愛しなければならぬので、充実した内容であり、会員の皆様に全てをお伝えできないのが大変

惜しいです。

座談会を終えて

経済状況から来る閉塞感が強い時代ではありますが、座談会を通じ、「想いは手法の上流にあり」とい

う言葉や、広い造園の領域を再認識しました。

我々は既存の造園領域の拡大に向けた活動にのみ注力することなく、新たな視点での事業量確保・拡大を目指すし、いわゆる「壁を壊す事に時間を使わず、壁をドアに変える事」を考えなければならぬのではないのでしょうか。

広報活動部長 鈴木 誠司



壁面緑化施工事例